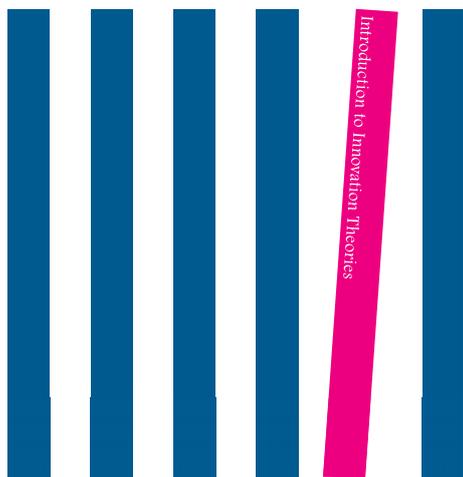


イノベーションを生み出す 社会、企業、人材、 そして制度とは。

イノベーション論 入門

土井教之＋宮田由紀夫 [編著]



中央経済社

編著者 土井 教之
宮田 由紀夫

出版社 中央経済社

定 価 2,600 円 (税別)

2015 年 3 月発行 / A5 判 / 236 頁

ISBN 978-4502-13541-5

ビジネスの視点からイノベーションを紐解く入門書

本書の構成

- 第 1 章 イノベーションと社会
- 第 2 章 イノベーションの基礎理論
- 第 3 章 イノベーションの普及
- 第 4 章 イノベーションを担う人材
- 第 5 章 イノベーションと産業
- 第 6 章 イノベーションと企業戦略
- 第 7 章 イノベーションと共同研究開発
- 第 8 章 イノベーションとアントレプレナーシップ
- 第 9 章 イノベーションと特許
- 第 10 章 イノベーションと標準
- 第 11 章 イノベーション政策

少子高齢社会となり、労働力も資本も増加が見込めない日本社会が豊かさを維持・増進していくためには、イノベーションが不可欠である。イノベーションは白衣を着た研究者が実験室で生み出すものではない。科学技術が市場で価値を生み出し社会に浸透することがイノベーションである。

文系・理系を問わず、イノベーションを理解することはビジネスマンとしても市民としても重要である。

本書はイノベーションの創生メカニズム、社会へのインパクト、企業戦略、そして制度・政策との関わりを広範に扱った入門書である。

Innovation